

普及項目	養殖
漁業種類等	養殖業
対象魚類	マガキ
対象海域	天草有明

天草市有明町大浦地先におけるマガキ浮遊幼生調査

天草広域本部水産課・陣内 康成

【背景・目的・目標（指標）】

天草市有明町大浦地先では、1 経営体が支柱式及びはえ縄式のマガキ養殖を営んでいる。当該経営体は、平成 29 年（2017 年）から自家採苗を実施しており、マガキの安定生産が可能となった。しかし、自家採苗は、5 月から 10 月まで 6 ヶ月間に渡る作業が必要であり、相当な労力を要している。

そこで、水産課では、効率的に稚貝を採集する方法を確認するため、マガキを含む二枚貝類の浮遊幼生調査を実施した。なお、他県の報告では、ピーク時に海水 200 リットル当たり 500 個～4,000 個の浮遊幼生が確認されていることから、本年度は、海水 200 リットル当たり 1 千個前後の二枚貝浮遊幼生を確認できる調査方法を検討することを目標とした。

【普及の内容・特徴】

月日：令和 2 年（2020 年）6 月 24 日～9 月 11 日

場所：熊本県天草市有明町大浦地先

参加者：牡蠣養殖業者 1 名、水産課 1 名

内容：湾内（St. ①）に 1 点、湾外（St. ②）に 1 点の採水点を設定した（図 1 参照）。

令和 2 年（2020 年）6 月 24 日から 9 月 11 日まで、週に 1 回、湾内では水面下 1m、湾外では水面下 1m 及び 3m で 200ml 採水した。採水に当たっては、漁船の採水ポンプを用いて、採水口を設定水深まで下ろし、汲み上げた海水を目合い 100 μ m のプランクトンネットで濾水、濃縮した。その後、サンプル瓶に保管後冷凍し、翌日以降、実体顕微鏡で二枚貝類の浮遊幼生を計数した。

【成果・活用】

湾内では令和 2 年（2020 年）8 月 19 日に海水 200 リットル当たり 1 千個を超える浮遊幼生が確認された。

また、湾外では令和 2 年（2020 年）6 月 30 日及び 8 月 19 日に海水 200 リットル当たり 1 千個を超える浮遊幼生が確認された。なお、詳細な結果は図 2 のとおり。

今後、マガキ養殖業者の採苗結果と浮遊幼生の相関を確認するとともに、この調査を複数年継続し、当該地先における浮遊幼生出現のパターンを把握していく。

【達成度自己評価】

4 目標（指標）はほぼ達成できた（76～100%）



図1 浮遊幼生調査点

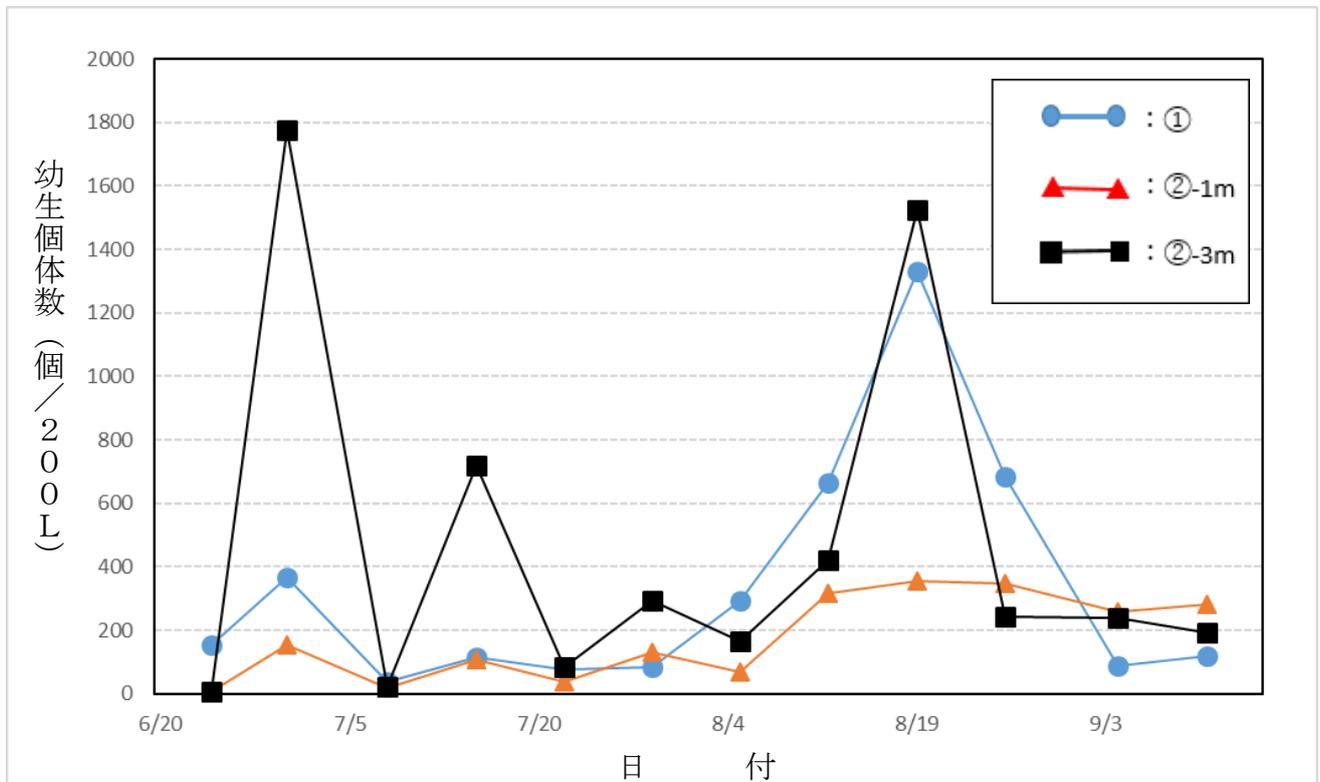


図2 二枚貝浮遊幼生出現状況